

# 令和4年度温室効果ガス排出量結果報告及び評価

電気の排出係数は令和2年度以降増加していますが、令和4年度の二酸化炭素の排出量は基準年度（平成25年度）と比較して13.6%の減少となりました。エネルギー使用量は、省エネルギー化の推進により、基準年度（平成25年度）と比較して9%減少しています。

近年は、平成29年以降の大型の公共施設の開館、令和2年の新型コロナウイルス感染症拡大に係る緊急事態宣言の発令による事務事業の自粛等により、エネルギー使用量は増減を繰り返しています。

エネルギー効率の良い電気への転換を進めた結果、エネルギー使用量における電気の使用量の構成割合が86.0%と高く、二酸化炭素排出量の多いA重油をはじめ、電気以外のエネルギー使用量が基準年度比で大幅に減少しています。引き続き取組みを進め、施設の更なる省エネルギー化を進めます。

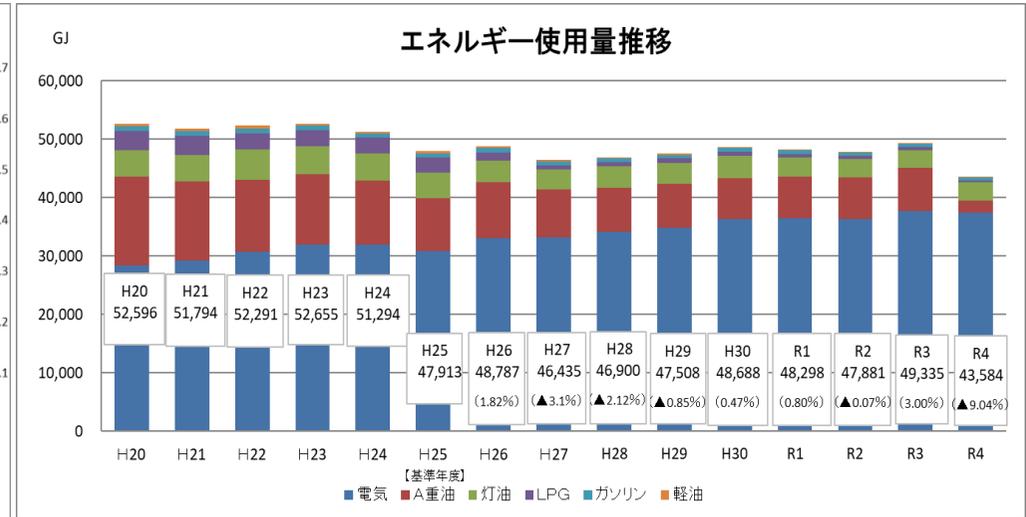
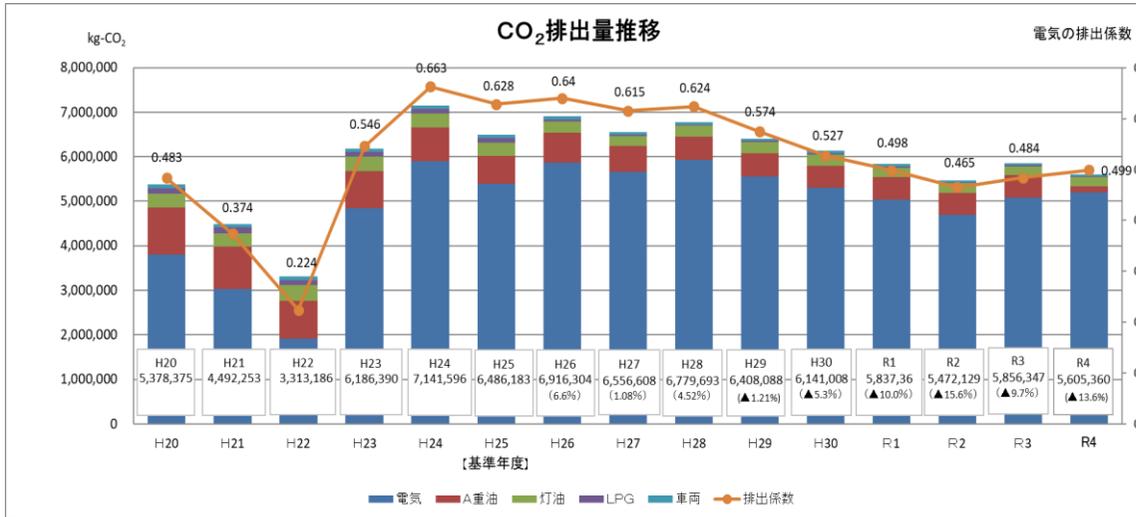


表1 発生源別二酸化炭素排出量

(単位：kg-CO<sub>2</sub>)

要因	平成25年度 排出量 (基準年度)	令和3年度 排出量	令和4年度		
			排出量	構成割合	基準年度比 増減
電気	5,392,568	5,075,948	5,197,257	92.7%	-3.6%
A重油	624,761	505,077	135,589	2.4%	-78.3%
灯油	298,422	205,824	216,187	3.9%	-27.6%
LPG	99,039	21,204	10,263	0.2%	-89.6%
施設計	6,414,790	5,808,053	5,559,296		
車両	71,393	48,294	46,064	0.8%	-35.5%
合計	6,486,183	5,856,347	5,605,360	100.0%	-13.6%

表2 発生源別エネルギー使用量

(単位：GJ)

要因	平成25年度 排出量 (基準年度)	令和3年度 排出量	令和4年度		
			使用量	構成割合	基準年度比 増減
電気	30,913	37,755	37,495	86.0%	21.3%
A重油	9,015	7,288	1,957	4.5%	-78.3%
灯油	4,399	3,034	3,187	7.3%	-27.6%
LPG	2,532	542	263	0.6%	-89.6%
施設計	46,859	48,619	42,902		
車両	1,054	716	682	1.6%	-35.3%
合計	47,913	49,335	43,584	100.0%	-9.0%